

農試第302号  
平成21年4月7日

各関係機関の長 様

福井県農業試験場長  
(公印省略)

農作物病害虫発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

連絡先	福井県農業試験場 病害虫防除室
Tel	0776-54-5100
FAX	0776-54-6403
E-mail	byogaicyu-boujo@fklab.fukui.fukui.jp

平成21年農作物病害虫発生予察予報第2号

4月の気象概況

天気は数日の周期で変わり、寒暖の変動が大きい見込みです。  
気温は高い、降水量は少ない、日照時間は平年並みと予想されます。

[**水稻関係**]

病害虫名 ばか苗病

1. 予報内容

発生時期：発病最盛期は4月下旬

被害程度：微発、局少発

発生量：育苗期の発生量は平年より少なく、前年並み

2. 防除対策および防除上の注意点

発生予察予報第1号のとおりであるが、特に種子消毒は浸種前に行い、浸種開始から3日間は換水を控える。また、薬剤の残液は、河川や池などに流さず、適正に処理する。

病害虫名 苗いもち

1. 予報内容

被害程度：少発

発生量：平年より少なく、前年より多い。

2. 防除対策および防除上の注意点

発生予察予報第1号のとおりである。

病害虫名 各種苗立枯病（糸状菌）

1. 予報内容

発生時期：初発は4月中旬

発生程度：少発

発生量：平年より少なく、前年並み。

2. 防除対策および防除上の注意点

発生予察予報第1号のとおりであるが、特に育苗ハウスの温湿度管理（夜間5℃以下、

昼間25℃以上にならないように管理する。多湿を避ける。)に留意し健苗育成に努める。

病害虫名 褐条病、もみ枯細菌病、苗立枯細菌病

1. 予報内容

発生時期：初発は4月中旬

発生程度：少発、局中発

発生量：平年より少なく、前年より多い。

2. 防除対策および防除上の注意点

発生予察予報第1号のとおりであるが、特に育苗ハウスの温湿度管理（昼間25℃以上にならないように管理する。多湿を避ける。）に留意し健苗育成に努める。

**〔大麦関係〕**

病害虫名 赤かび病

1. 予報内容

発生時期：初発は4月末

被害程度：少発、局中発

発生量：平年より少なく、前年並み

2. 防除対策および防除上の注意点

(1) 防除適期は開花はじめ～開花盛期である。そのために穂揃期とその7日後の2回薬剤防除を行う。

(2) 出穂期以降に降雨が続くと多発するので、天候の様子を見て防除を行い、防除時期が遅れないように注意する。

病害虫名 雲形病

1. 予報内容

被害程度：少発、局中発

発生量：平年より少なく、前年並み

2. 防除対策および防除上の注意点

(1) 本病は進展速度が遅いので、局部発生であれば防除の必要はない。

(2) 発生の多い圃場では止葉抽出期に薬剤を散布する。

(3) 種子伝染するので発病圃場からは採種しない。

病害虫名 株腐病

1. 予報内容

被害程度：少発、局中発

発生量：平年並み、前年より少ない

2. 防除対策及び防除上の注意点

(1) 麦の生育量が多い圃場では、発生が多くなるので注意する。

(2) 発生を認めたら、発生初期に薬剤を散布する。

**〔果樹関係〕**

果樹名	病害虫名	予報内容			防除対策
		発生時期	被害程度	発生量	
ナシ	黒星病	初発： 5月上旬	(5月) 少発	(5月) 平年：少 前年：並み	1)脱苞期～交配直後にかけて重点防除する。 2)同一薬剤の連用は避ける。

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ナ シ	黒斑病	初発： 5月上旬	(5月) 少発	(5月) 平年：並み 前年：並み	1)脱苞期～交配直後にかけて重点防除する。 2)同一薬剤の連用は避ける。
	赤星病	初発： 4月下旬	(4月) 少発	(4月) 平年：少 前年：並み	1)中間寄主のビャクシ類はできるだけ広範囲に伐採する。 2)防除は開花直前から5月上旬にかけて行う。
ウ メ	灰色かび病	果実初発： 4月中旬	少発 局中発	平年：やや多 前年：やや多	1)低温により開花の終わりが長引いたため、発生増加に注意する。 2)今後、4月～5月に雨天が続く場合は、適宜追加で防除を行う。
	黒星病	果実初発： 5月中旬	(5月) 少発 局中発	(5月) 平年：並み 前年：並み	1)防除体系に基づき、展葉初期から予防散布を行う。 2)多発園では4月中は防除間隔を10日以内にする。
	かいよう病	果実初発 4月下旬	少発 局中発	平年：並み 前年：やや多	1)生育期(4月)に抗生物質剤で予防防除する。 2)降雹後は、2日後に抗生物質剤で防除する。 3)防風対策等を実施する。
	アブラムシ類	加害初期： 4月中旬	少発 局中発	平年：並み 前年：やや少	1)展葉初期～生育期に防除する。
	ウメシロカイガラムシ(第1世代幼虫)	幼虫発生初期：4月6半旬	少発 局中発	平年：並み 前年：並み	1)予測したふ化時期の1週間前から越冬雌成虫の産卵および幼虫ふ化時期を観察し、適期に防除する。 2)越冬成虫のカイガラ着生が多い樹ではふ化初期とその7日後の2回防除する。